



回答率：協議会委員90%、保護者67%、児童92%、教職員100%

### 学校教育目標について

<b>1 教育方針・目標の理解</b>	<b>2 意欲的な学校生活</b>	<b>3 教師の連携協力</b>
学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	子供は、充実した学校生活を送っていると思いますか。	全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。
<p>&lt;考察&gt; ※「4 そう思う」と「3 どちらかといえばそう思う」の回答は「肯定的な回答」と表記。</p> <p>【1】肯定的な回答率が、学校運営協議会委員（以下：協議会）100%、保護者96%、児童94%、教職員100%であった。これは、学校教育目標を分かり易く短いフレーズにしたり、全校集会の度に示したり、各教室に常時掲示したり、学校だよりや学校ホームページで常時掲載したりした成果と考える。今後も全ての教育活動を「自ら学ぶ子供」の育成と絡めながら進め、将来を豊かにたくましく生きる人材を育成していきたい。また、地域や家庭との連携のもとに力強く進めていきたい。</p> <p>【2】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者94%、児童96%、教職員100%であった。特に児童の肯定率が高かったことは、子供の「学びたい」「分かりたい」を引き出す授業改善や生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけによる自己指導能力の育成、認め・ほめ・励まし・伸ばす指導などの成果と考える。</p> <p>【3】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者94%、教職員100%であった。これは、全職員が、学校行事や教科指導、生徒指導において、学校教育目標の実現に向け、組織的に協働して（「チーム」として）取り組んだ成果と考える。</p>		

### 教科指導について

<b>4 授業づくりの工夫</b>	<b>5 意欲的な学習態度</b>
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。	子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。
<p>&lt;考察&gt;</p> <p>【4】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者98%、児童95%、教職員100%であった。これは、子供が分かる・できる喜びを実感した証であり、学校総体で推進した「子供を主語にした授業改善（魅力ある学習課題・必要性をもった話し合い・学びを生かす振り返りなど）」の成果であると考えられる。</p> <p>【5】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者89%、児童90%、教職員100%であった。これは、【4】で記述した授業改善や生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけによる自己指導能力の育成、魅力的な教材開発、ICTの効果的な活用などの成果と考える。一方で、10%にあたる児童は否定的だったことから、更なる授業改善と共に、個別指導の充実や変容に対する賞賛などを強化していきたい。</p>	

### 道徳教育 心の教育について

<b>6 道徳、心の教育の充実</b>	<b>7 あいさつ、礼儀の励行</b>
学校は、思いやりや感謝などを大切にする心の教育の充実に努めていると思いますか。	子供たちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。
<p>&lt;考察&gt;</p> <p>【6】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者95%、児童87%、教職員100%であった。児童の13%が否定的な回答であったことから、ボランティア活動などの「見える思いやり、心遣い」の奨励と賞賛（価値付け）に学校総体で努めたい。また、子供たちの実生活に即した道徳教育を進め、道徳的心情・道徳的判断力・道徳の実践力の育成に努めたい。</p> <p>【7】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者90%、児童95%、教職員100%であった。保護者の10%が否定的な回答であったことから、本校で取り組んでいる「（挨拶について）学校は練習の場、本番は地域社会」を合い言葉にした教職員の率先垂範（大人が模範を示す）と児童会活動の支援を強化したい。そして、地域や家庭で明るい挨拶や返事、正しい言葉遣いなどができる子供を育てたい。</p>	

### 人権同和教育について

<b>8 一人一人の児童の尊重</b>	<b>9 友達への思いやり</b>
学校は、一人一人の子供を大切にされた指導や対応ができていますか。	子供たちは、友達となかよくしていると思いますか。
<p>&lt;考察&gt;</p> <p>【8】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者95%、児童96%、教職員100%であった。これは、今年度学校総体で取り組んできた心のアンケートの毎月実施やそれに伴う個別面談などの一人一人の子供に寄り添ったきめ細かな対応の成果と考える。今後も、児童の困り感に対し、「どうしたの？」や「何か困っているの？」と丁寧に聴き取り「どうしたいの？」などと問いかけ自己決定を促し、自己指導能力を高めていきたい。</p> <p>【9】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者99%、児童99%、教職員100%であった。これは、子供が過ごす学校生活時間の大半を占める授業を通して、コミュニケーションの活性化を図ると共に、児童相互の理解（分かり合う）や評価（認め合う）の機会を多く設けた成果と考える。今後もコミュニケーションを基にした、相互理解や相互評価を進め、よりよい人間関係づくりに努めたい。</p>	

### 学校行事について

<b>10 学校行事等の工夫</b>
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。
<p>&lt;考察&gt;</p> <p>【10】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者96%、児童96%、教職員100%であった。これは、各種学校行事などの目標を明確にし、事後の振り返りにより変容を自覚させることで、満足度が高まったものとする。今後も時間対効果の高い学校行事などを創造したい。</p>

## 生徒指導 教育相談について

11 児童理解	12 規範意識	13 いじめや問題への対応
<p>学校は、子供の良さを見つけ、子供のことを理解しようとしていると思いますか。</p>	<p>子供たちは、学校の規則やマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>学校は、いじめや問題行動等があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p>
<p><b>&lt;考察&gt;</b>                      【11】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者93%、児童96%、教職員100%であった。これは、子供に寄り添い、「結果ではなく挑戦したことをほめる（ほめる機会の増大）」、「変容を褒める（児童の実感が伴った賞賛）」を学校総体で進めた成果と考える。                      【12】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者91%、児童94%、教職員100%であった。特に保護者の9%が否定的な回答であったことから、今後も生徒指導の4機能を生かした教師の働きかけにより自己指導能力を育て、自身の言動を律する（「自分の心に線を引く」）ことができる児童を育てていきたい。同時に、家庭でもお子様「どうするべきか」と事ある毎に問いかけられ主体的な変容を促し、改善が見られたらほめていただきたいと思います。学校と家庭で連携した教育により、実社会で規則やマナーが遵守できる態度を育てていきたいとします。                      【13】肯定的な回答率が、協議会86%、保護者88%、児童94%、教職員100%であった。児童の肯定的な回答が高かったことは、今年度より毎月実施しているいじめの未然防止に向けた「心のアンケート」、それを基に実施する「個別面談」、いじめ防止に係る全校集会の複数回実施、年間を通した人権同和教育及び道徳教育の実施、気になることがあった際の家庭とのきめ細かな連携、必要に応じた関係機関と連携（専門的なアプローチ）などの成果と考える。しかし、協議会委員や保護者に一定数の否定的な回答があったことから、今後、家庭や地域の方と連携したいじめや問題行動の早期発見、早期解消に向けた、相談体制の整備や周知に努めたい。</p>		

## 健康教育 安全について

14 安全と事故防止	15 体力向上	
<p>学校は、子供の安全と事故防止に努めていると思いますか。</p>	<p>子供たちは、進んで運動（スポーツ）をしていると思いますか。</p>	<p><b>&lt;考察&gt;</b>                      【14】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者100%、児童97%、教職員100%であった。これは、全職員で毎月実施している施設設備の安全点検の徹底や、児童に危険予知能力を指導してきた成果と考える。また、地域での事故なども減少したことから、地域総ぐるみでの見守りの賜物と考える。                      【15】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者81%、児童91%、教職員100%であった。社会体育への加入率が上がらない中、児童の運動離れ及び体力の低下は否めない。学校としては、体力診断テストで見た課題の克服に向けた体育時の補強運動や、昼休み時間の外遊びの奨励などを継続的に実施して対処したい。</p>

## 学校環境について

16 環境の整理・美化	17 施設・設備の安全管理	
<p>学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。</p>	<p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>	<p><b>&lt;考察&gt;</b>                      【16】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者100%、児童94%、教職員100%であった。これは、児童会活動及びボランティア活動を中心に、花壇や運動場、掲示板などの整備及び管理に努めた成果と考える。                      【17】肯定的な回答率が、協議会委員100%、保護者96%、児童94%、教職員100%であった。これは、毎月全職員で実施している校内安全点検の徹底や、日常的な危険箇所確認（ヒヤリ・ハット報告）などに努め、見出した問題点は関係機関との連携のもと迅速に改善した成果と考える。</p>

## 情報の公開・発信について

18 学校の予定等がわかる情報発信	19 教育活動への参加
<p>学校の情報は、学校ホームページや各種便り等で、十分に発信されていると思いますか。</p>	<p>学校が公開している教育活動（行事、授業参観等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。</p>

## 家庭・地域の連携について

20 家庭や地域との連携協力
<p>学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>

**<考察>**  
 【18】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者92%、教職員100%であった。これは、地域の方や保護者のニーズに合わせて学校ホームページ（ほぼ毎日更新し、2月末現在アクセス数161,590）と学校だより（2月末現在37号発行）の両方で子供たちの学校教育活動の様子を中心に、各種お知らせや行事予定などを発信した成果と考える。今後も学校安心メールも含めた情報提供を迅速に行っていききたい。  
 【19】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者91%、教職員100%であった。これは、今年度行った保護者の関心が高い子供の安心・安全、健全育成に係る「情報モラル」講座を専門機関と連携して授業参観時に行ったり、【18】で述べたように行事予定などの迅速な発信などの成果と考える。

**<考察>**  
 【20】肯定的な回答率が、協議会100%、保護者94%、教職員100%であった。これは、年度当初に情報集約担当者を保護者に周知し、得られた相談に対して丁寧に対応した成果と考える。今後も継続し、家庭や地域と連携した教育を続けていきたい。

### 次年度に向けた重点取組事項(肯定的な回答が90%未満が2つ以上あった項目)

- 【13 いじめ問題への対応】 心のアンケート及びそれに伴った個別面談の毎月実施の継続、人権教育の充実、普段からの児童観察
- 【15 体力向上】 体育の授業の充実や昼休みの外遊びの奨励、徒歩での通学（歩育）の奨励